

# さちが丘小学校 体育・健康プラン

## 【さちが丘小学校 学校教育目標】

ゆめと希望のさち小をめざして

## さちが丘小学校 児童生徒の体育・健康面の姿

- ・新体力テストの結果より、全国平均や市平均に比べて本校の児童の運動全般の能力は低くないものの、技能に偏りがある。例えば、走力を示す50m走や敏捷性を示す反復横とびは、共に市の平均並、または平均を上回っている結果である。一方で、投力を示すソフトボール投げは、男女共に平均を下回っていることから、投げる技能の弱さがわかる。
- ・地域には、のびのびと外遊びができる空間が多いとはいえない状況である。
- ・運動を積極的にする児童としない児童の差が顕著である。放課後の遊びをみても、ボール遊びや鬼ごっこなどをする児童に対して、カードゲームやテレビゲームに夢になる児童もおり、体育学習への意欲にも違いが見られる。

## <さちが丘小学校 体育・健康に関する指導の目標・方針>

- ◎ 適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力の基礎を育てます。
- ◎ 様々な健康課題に対して、問題解決意識をもち、よりよく解決していく能力を身につけ生涯を通して健康で安全な生活を送ろうとする態度を育成します。
- ◎ 自ら積極的に運動にかかわり、運動の楽しさや喜びを味わい、健康・安全についての実践的・科学的な理解を通して、自己のよさや可能性に気づき、自尊感情の高まりにつなげていくようにします。
- ◎ 健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てます。

### 教科

#### 《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科の授業の中で、「しっかり教え、しっかり引き出す」指導を目指します。①子どもに身に付けさせたいことは何か。②そのことに向けてどのように方略をもつか。③指導の結果、身に付けさせたいことが身についたか。④身に付かなければどのように改善していくか。また、十分に身に付いていれば、さらにどのように発展させていくか。というポイントをふまえて指導していきます。
- ・保健学習等では、自分の成長や体の変化を学びながら、命の不思議や大切さに気づき、自己肯定感や周りの人々への感謝の気持ちをもてるようにします。
- ・体ほぐしの運動では、自分や仲間の体の調子に気がつくとともに、心と体がつながっていることを意識するようにします。
- ・新体力テストのデータをもとに自分の体力を分析し、体づくり運動で自分の独自のメニューで体力向上を図ることができるようにします。
- ・健康の保持増進には、1日の生活の仕方が深く関わっていて、1日の生活のリズムに合わせた食事、運動、睡眠が必要であることを理解できるようにします。（学校保健委員会等との関連を図りながら内容を充実させていきます。

### 他領域・他教科などでの取組

- ・保健領域の学習を保健指導、安全指導、給食指導と関連付けて理解できるようにします。
- ・食事の重要性について保健で学習するとともに、栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性について、家庭科・特別活動・学校保健委員会との関連を図りながら内容を充実させ、適切に健康や食生活にかかわる能力が身に付くようにします。
- ・運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させ、友達と教え合い、学び合い、伝え合うふれあいを通して、誰とでも仲良く協力し助け合うことで、楽しさがより増すことを体験できるようにします。
- ・クロスカントリーでは、友達と励まし合ったり、互いの違いを認め合ったりしながら走ることを楽しむことができるようにします。また、自分の力に合っためあてをもち、体育の時間や中休みの時間に自分のめあてに向かって取り組むことができるようにします。また、クロスカントリーに向け、体育委員会を中心に体力アップのために体づくり運動の計画を立て、安全を留意した上で運営していきます。
- ・チャレンジ週間では、ハートウィークとタイアップし

### 課外活動

- ・体力アップ作戦として、体育委員会を中心に朝休みや中休みなどを通して体づくり運動の企画・運営
- ・健康手帳を活用して体育健康に関する情報を家庭と共有
- ・体育健康に関する職員研修の充実
- ・すこやか委員会において、健康の保持増進に関する取り組みの発達。

### 【参考】 学習指導要領総則

「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする」